

この説明文書は服用前に必ずお読みください。また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

## 乗物酔い薬

# クミアイ乗物酔い液

第2類医薬品

乗物酔いは、動揺病又は加速度病ともいわれ、なれない速度や動揺を受けることによって、からだの平衡機能をつかさどっている内耳の迷路器官(三半規管や前庭器官)が刺激されて興奮し、正しいバランスを保てなくなってしまうといわれています。

クミアイ乗物酔い液は、迷路器官や嘔吐中枢に作用する薬剤を配合し、乗物酔いによるめまい・吐き気・頭痛の予防及び緩和に効果を発揮する内服液です。

## ⚠ 使用上の注意

### ⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと  
他の乗物酔い薬、かぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、胃腸鎮痛鎮痙薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、アレルギー用薬等)
2. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと  
(眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがある。)



### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること  
(1) 医師の治療を受けている人。  
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。  
(3) 高齢者。  
(4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。  
(5) 次の症状のある人。 排尿困難  
(6) 次の診断を受けた人。 緑内障、心臓病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
精 神 神 経 系	頭痛
泌 尿 器	排尿困難
そ の 他	顔のほてり、異常なまぶしさ

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること 口のかわき、便秘、眠気、目のかすみ

## 効 能

乗物酔いによるめまい・吐き気・頭痛の予防及び緩和

## 用法・用量

年 齢	1回量	服用回数
成人(15才以上)	1瓶(20mL)	1日2回を限度として服用してください。服用間隔は4時間以上おいてください。ただし乗物酔いの予防には、乗車前30分から1時間前に服用してください。
15才未満	服用しないでください。	

### 〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)用法・用量を厳守してください。
- (2)食前・食後にかかわらず服用できます。

## 成分・分量 20mL中

成 分 名	分 量	作 用
スコポラミン臭化水素酸塩水和物	0.24mg	乗物酔いの原因となる自律神経の興奮を抑え、めまい・吐き気などを抑えます。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	4mg	中枢神経を抑制し、乗物酔いによるめまい・吐き気を抑えます。
無水カフェイン	30mg	脳血管を収縮させることによって乗物酔いによる頭痛などを抑えます。

添加物：D-ソルビトール、白糖、クエン酸水和物、メタリン酸Na、安息香酸Na、パラベン、アルコール、香料

## 保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4)使用期限をすぎた製品は服用しないでください。

## [乗物酔い対策]

- 前夜は、睡眠を十分にとりましょう。
- 食べすぎや、極度の空腹は避けましょう。
- 前方の席や窓際の席を選び、後ろ向きの座席は避けましょう。
- 楽な姿勢で遠くの景色を見たり、おしゃべりをするなどゆったりとした気分でご過ごしませう。
- ゆったりとした衣服を身につけましょう。



製品についてのお問い合わせは、お買い求め先又は下記にお願い申し上げます。  
小林薬品工業株式会社 お客様相談室  
電話：058-278-3933  
受付時間：10時～16時(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構

☎ 0120-149-931(フリーダイヤル)